

報道関係者各位

2025 年 12 月 19 日

株式会社読売広告社

YOMIKO、名古屋駅前桜通にて居心地の良い場を創出し 再整備の機運を高める社会実験を実施（名古屋市）

人中心の道路空間への転換に向け、名古屋駅からまちへの、
人・にぎわいのにじみだしや、滞留空間の創出に取り組む

株式会社読売広告社（本社：東京都港区 代表取締役社長：菊地英之 以下 YOMIKO）は、株式会社オープン・エー（本社：東京都中央区 代表取締役：馬場正尊）と合同会社 NEWSKOOL（本社：東京都渋谷区 代表：鎌田頼人）と協働し、名古屋市発注の企画競争（プロポーザル）に参加した結果、高評価を獲得し、選定を受けました。そこで、名古屋市が再整備を進めている名古屋駅東側駅前広場から“まち”へつながる桜通について、人中心の道路空間への転換に向け、名古屋駅からまちへの、人・にぎわいのにじみだしや、滞留空間の演出をテーマに社会実験「NAGOYA Challenges! WAY in 桜通」を企画・制作し、実施しました。



YOMIKO は、名古屋駅前桜通において、人々が行き交う様子やくつろぐ様子を検証し、滞在を促し、まちのにぎわいを高める空間や体験のあり方を提示するべく、「時間帯や過ごし方に応じた空間の提案」と「企業共創型社会実験の実施」を行いました。

■ 名古屋駅前桜通 社会実験「NAGOYA Challenges! WAY in 桜通」概要

会期：2025 年 11 月 7 日（金）～11 月 13 日（木）

場所：名古屋駅前 桜通（大名古屋ビルディング前、名古屋ビルディング前）

この社会実験は、桜通の再整備を見据えて、大名古屋ビルディング前（NORTH AREA）と名古屋ビルディング前（SOUTH AREA）を会場として実施しました。都市の日常に、にぎわいと発見をもたらす体験展示が楽しめる「PLAY ZONE」、キッチンカーによる軽食などを楽しむことができる「DINING ZONE」、ベンチなどを配置し、緑に寄り添いながら一息つける居場所となる「LIVING ZONE」の3つのゾーンに会場を区分し、異なる機能と雰囲気をもつ3つのゾーンが有機的に繋がることで、都市での新たな過ごし方を提案しました。実験期間中は、近隣のオフィスワーカーや旅行客など、たくさんの人が足を止めてアーティストのライブに聴き入る様子やベンチで会話をを楽しむ様子などが見られました。

PLAY ZONE

プレイフルな家具やライトアップ
する遊具が楽しいスペース。



DINING ZONE

ひとりでも、だれかとでも楽しく、
美味しい飲食スペース。



LIVING ZONE

道路空間に緑やソファ、
ベンチが並ぶ、憩いのスペース。



実験期間中に実施したアンケート調査では、回答者 約 350 人のうち、約 90%が本実験を好意的に評価し、そのうち約 75%が「居心地の良さ」を実感したとの結果が得られました。

今後は、本社会実験で得られたデータや人々の声などの調査結果をもとに、桜通の将来的なポテンシャルを明らかにするほか、YOMIKO の独自プログラム「CIVIC PRIDE®発想」による駅前空間の新たな可能性や再整備に向けた機運醸成に貢献する要素を抽出し、新たな魅力創出と安心・安全で心地よく過ごせる場づくりに貢献してまいります。

■ 株式会社読売広告社とは

YOMIKO は、広告ビジネスにとどまらず、デジタル領域、流通／営業領域など幅広い領域のコンサルティングビジネスを展開しています。また、企業や自治体、研究機関など様々な仲間と社会課題を解決する「コミュニティクリエイション®」や、市民がまちに対して持つ愛着や誇りを可視化した「CIVIC PRIDE®」指標を活用するなど「まちづくり」に関わる領域のビジネスを推進し、構想から実装までを支えています。YOMIKO はこれからも、ビジネスと社会のサステナブルな成長のためにともに変化に挑戦する「GAME CHANGE PARTNER」となることを目指していきます。 URL：<https://www.yomiko.co.jp/>

プロジェクトに関するお問い合わせ

読売広告社 コミュニティクリエイションビジネス局 中村・祖父江 メール：civic-pride@yomiko.co.jp

取材に関するお問い合わせ

読売広告社 広報部 関原 メール：koho_mail@yomiko.co.jp